



令和4年1月17日(月)
北九州市 環境局
グリーン成長推進課
課長：工藤 里恵
係長：小田 信介
TEL：093-582-2286

ゼロカーボンにみんなで取り組むプロジェクト

KitaQ Zero Carbon を始動します！

本市は、令和2年10月に「ゼロカーボンシティ」を宣言するとともに、令和3年6月に「気候非常事態宣言」を行い、同年8月には北九州市地球温暖化対策実行計画を改定しました。

これらを踏まえ、脱炭素ライフスタイルへの転換や、企業の脱炭素経営を推進し、オール北九州の「市民環境力」によりゼロカーボンシティを実現するため、この度、「KitaQ Zero Carbon (キタクューゼロカーボン)」プロジェクトを始動します。

本プロジェクトは、新たに立ち上げるポータルサイトを通じた積極的な情報発信を中心に、アクションの見える化による動機付けの効果検証や、市民参加型イベント等の開催等により、市民・企業のみなさまとの協働・共創を促進することで、3年間で6万人のアクションにつなげることを目指します。

記

1 プロジェクト期間と目標

社会の3.5%が参加したムーブメントは成功するとされる研究レポート^{※1}をもとに、プロジェクト期間である3年間(令和4年～令和6年)で以下の目標を設定し、脱炭素に関心のある市民の具体的なアクションの表出を目指します。

指標	1年目	最終目標(3年間の累積)
イベント参加者数 ^{※2}	1万人	北九州市の人口の3.5%を上回る 6万人

※1: Erica Chenoweth (Harvard Kennedy School の教授) による研究レポート

※2: 脱炭素に関連する行事等であって、参加者を特定できる行事等への参加者数(セミナーへの参加等)。これまで実施している既存のイベントを含む。対象イベントについては今後詳細に検討予定。

2 具体的な取組内容

(1) ポータルサイトの立ち上げと SNS 活用による積極的な情報発信

ゼロカーボンアクションのきっかけとなる情報を集約して発信するために、本プロジェクトのハブ機能となるポータルサイト「KitaQ Zero Carbon」を立ち上げるとともに、SNS を効果的に活用することで、情報の訴求効果を高めます。

加えて、ポータルサイトでは、市内におけるゼロカーボンアクションの取組状況^{※3}を数値として見える化し、プロジェクトの一体感を高めます。

【ポータルサイト】

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/kitaq-zeroarbon/>



【掲載コンテンツ (例)】

- ✓ 市民・企業が参加できる市内のゼロカーボンイベントや脱炭素に関する取組
- ✓ 脱炭素に関連する新着トピックス
- ✓ 北九州市の取組
- ✓ 企業向けの北九州市の支援策

※3：参加者数、実施イベント数、アクションポイント数、サイト訪問者数を集計予定

(2) アクションの見える化による動機付けと効果検証

既存のプラットフォーム (actcoin^{※4}) を活用し、ゼロカーボンアクションに応じてポイント付与することで、個々人のアクションを見える化し、脱炭素へ興味がある層への共感・拡散を促すことによりコミュニティ化を促進し、参加者同士のつながりによる活動のインパクトを高めるとともに、それらの効果を検証します。

また、今後、活動に対するインセンティブなど、更なる動機付けに向けた仕組みを検討していきます。

※4：個人が行う様々なソーシャルアクションに対して、買うことも売ることができない独自のポイントを付与することで社会貢献活動を見える化し、新しい価値に変えるプラットフォーム

(3) 市民・企業が参加できるセミナー・ワークショップの開催

市民の脱炭素ライフスタイルへの転換のきっかけづくりやコミュニティ形成、企業における脱炭素経営の意義と具体的な手法に関する理解形成等を目的にオンラインセミナー・ワークショップ等のイベントを連続的に実施します。

【当面のセミナー等の開催予定】(詳細については「別添資料」を参照。)

- ✓ 1月26日(水)：Webセミナー「脱炭素経営が求められる背景とその実践方法」
- ✓ 2月 2日(水)：Webセミナー「KitaQ Zero Carbon とは?脱炭素の現状とビジネス展開」
- ✓ 3月上旬頃(予定)：Webセミナー
- ✓ 3月下旬頃(予定)：Webワークショップ

KitaQ Zero Carbon プロジェクト

目標：3年間で6万人※のアクション創出

※脱炭素に関連する行事等であって、参加者を特定できる行事等への参加者数（セミナーへの参加等）。



アクションの見える化・動機付け

